



2026年度お盆期間 ご利用実績

2026年度お盆期間(2026年8月7日～8月16日)について、JALグループ航空会社のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

【JALグループご利用実績】

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計)

※カッコ内は2025年8月7日～8月16日を対象とした2025年8月17日時点の数字

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年差
1,264,263席 (1,304,010席)	97.0%	1,098,816人 (1,166,797人)	94.2%	86.9% (89.5%)	▲2.6pt

- 台風影響により沖縄方面を中心に約470便の欠航が発生しましたが、お盆期間としての搭乗率は86.9%となりました。また、下りのピークは8月8日、上りのピークは8月16日でした。
- 方面別では北海道方面が特に好調で、旅客数は前年比108.1%となりました。また、北海道方面・関西方面においては、搭乗率が90%以上となりました。
- 令和8年熊本地震をうけて、九州地方域内の移動手段確保のため、お盆期間についても福岡＝鹿児島線において計76便の臨時便を設定しました。

2. 国際線 (JAL、JTA)

※カッコ内は2025年8月7日～8月16日を対象とした2025年8月17日時点の数字

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年差
254,589席 (261,992席)	97.2%	211,955人 (230,743人)	91.9%	83.3% (88.1%)	▲4.8pt

- 台風影響により東アジア方面を中心に計22便が欠航しましたが、お盆期間としての搭乗率は83.3%となりました。また、日本出発のピークは8月8日、日本到着のピークは8月15日でした。
- 方面別の旅客数ではいずれも前年を下回るものの、ハワイ・グアム方面において、前年を1.5pt上回る搭乗率となりました。

詳細につきましては、添付別紙JALグループ各社ご利用実績をご覧ください。

以上